

体験学習カード

作成日 2019/ 7/ 1.

<p>体験内容</p>	<p style="text-align: center;">「暗闇レストランへようこそ！」</p> <p>あなたは、光の無い世界に住んだことが有りますか？深海や地底、宇宙のかなた、そんな遠くではなく、そっと目を閉じてみましょう。そこには私たちが気づかなかった、豊かな世界が広がっています。今日は、視覚障がい者と一緒に、暗闇の世界を体験してみましょう。</p>
<p>対象年齢</p>	<p>5歳以上</p>
<p>参加条件</p>	<p>食事制限やアレルギーの児童については、別途検討します。</p>
<p>定員</p>	<p>特にありませんが、目の届く範囲ということで、30名前後が適正と思います。</p>
<p>所要時間</p>	<p>食事のみの場合、50分 コンサートや語り鑑賞も追加すると 60分</p>
<p>場所 (スペース、設備等)</p>	<p>教室や体育館、若しくは食堂</p>
<p>持ち込み備品</p>	<p>給食をレストランメニューとするときは、特に不要です。 使い捨てアイマスクを1人1枚(他アトラクションとの兼用可能)</p>
<p>スタッフ数</p>	<p><input type="checkbox"/> 体験者3名に対し1名のスタッフ <input type="checkbox"/> 参加者交互に食事サポートをする場合は、8名に対し1名のスタッフ</p>
<p>依頼者が準備する 備品</p>	<p>体験者数の学校机と椅子</p>
<p>開催時期</p>	<p>開催日に制限はありませんが、開催時間は昼 12 時前後となります。</p>
<p>問合せ先 ※</p>	<p>★ 狛江市市民活動支援センター(こまえくぼ1234) ☎ 03-5761-5556 FAX 03-5761-5033 Email: info@vc.komae.org ★ 狛江視覚障害者の会 事務局 宇多川清治 ☎ 090-9144-9384 Email: se-udagawa@tuba.ocn.ne.jp</p>
<p>備考 (費用、駐車場、 控室等)</p>	<p>給食を使用できない場合は、レストランよりお料理のケータリングを依頼します。予算としては、1食500円程度を考えています。</p>



「暗闇レストランへようこそ！」

光に頼って生きる私たちにとって、暗闇は妖怪やお化けなど、恐ろしい者の住む世界と思われてきました。しかし、そっと目を閉じれば、すぐそこに暗闇の世界が広がっています。

視覚情報を閉ざすことによって、料理の素材の味を深く感じとれたり、それまで聞こえなかった美しいかすかな音色を感じ取れたり、言葉を通してあたかも目の前に存在するかのような豊かな想像が広がるなど、新しい多くの体験をすることが出来ます。

障害者を弱い存在、可哀そうな存在として支援を求めるだけでなく、同じ社会で共に暮らす仲間として、視覚障がい者を理解し親近感を持ってもらいたい。子どもやお年寄りが困っていたら声をかけるように、障がい者を見かけたとき、気軽に声を掛け合える街になって欲しいと、このイベントを企画いたしました。

【体験会概要】

- ① アイマスクをした状態で、食事をします。
- ② 食事前にメニューを知らせ、食事の仕方を教えます。
- ③ 体験者を食事役とサポート役に分けて、両方の体験をすることも可能です。その場合、食事時間が2倍になりますが、一方で定員を増やすことができます。
- ④ 暗闇での食事体験に、クラシック音楽ミニコンサートや語り部による昔ばなしの会を加えることができます。
- ⑤ 今後の課題となりますが、給食センター様との連携により、食育を兼ねた体験イベントにしていきたいと思えます。
- ⑥ 食事は、基本的に高温のメニューは避けます。アレルギーについては、学校給食の時の対応方法に準じます。

パターンA



パターンB

